

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区馬借3丁目6番42号

団体名 日本磁力選鉱株式会社

代表者 原田 信

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	にっぽんじりょくせんこうかぶしきかいしゃ	
団体名	日本磁力選鉱株式会社	
(ふりがな)	はらだ まこと	
代表者氏名	原田 信	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 馬借3丁目6番42号
	主たる事業所	北九州市若松区響町1丁目79番地1(ひびき工場)
事業概要	選鉱事業、鉄鋼原料等加工販売事業、環境関連事業、資源選別機器事業、プラント事業、その他の事業 (ひびき工場の取組についても、一括して申請を行います。)	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種(企業のみ)	製造業	
従業員数(企業のみ)	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	http://www.nmd.co.jp	



































連絡先

担当部署	経営企画部
担当者	神山 純枝
電話番号	093-521-4400
メールアドレス	kamiyama@nmd.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある	最も関連性のある
				ゴール	ターゲット	指標		ゴール・ターゲット	「北九州市SDG 未来都市計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境(1)①
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 {サプライチェーン管理}	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	経済(2)④
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	北九州市環境未来技術開発助成制度					ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	経済(2)③
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)	北九州エコプレミアム選定制度					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	環境(1)②
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 {労働環境整備}					<ul style="list-style-type: none"> ・業務の互換性を高め、休暇を取得しやすいような助働体制を構築 ・従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底 ・タイムカードや業務用PCの管理などにより労働時間を正確に把握 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	経済(3)①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ジェンダー平等}					<ul style="list-style-type: none"> ・パート、アルバイト、派遣社員など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施 ・従業員の人事評価を平等にするため、成果の達成度を重要視した評価制度を採用 ・就職水戸期世代の人物を積極採用 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(1)②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 {ハラスメント防止}					<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントについての社内研修を実施 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	社会(1)②
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対して、定期的に健康診断を実施 ・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施 ・社内において禁煙・分煙を実施 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・社内の人材育成 ・社内外における研修の受講奨励や、大学院、研究機関への派遣を行っている 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(2)①
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・従業員向けにSDGs研修を実施 ・自治会に加入し、地域の防災訓練に参加 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	経済(4)①

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)

企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 3年 9月 30日
 団体名 日本磁力選鉱(株)

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は2049年に創業100周年を目指しており、SDGsの掲げる2030年の延長線上に弊社の未来が存在すると考えます。全社を挙げてSDGsの理解と導入を行い、社会に必要とされ続ける会社運営を行って参ります。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		ひびき工場における再生可能エネルギーの導入(電力・LPG代替の太陽光、風力・バイオマスなどの活用による再エネ移行)	指標 (KPI)	再生可能エネルギー導入量	指標
社会			目標値		環境 (1) ①
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2020年1,030千kw h/年→2030年全量 導入	
経済	○	本社の電力使用量の削減	指標 (KPI)	電力使用量の削減	指標
社会			目標値		経済 (2) ④
環境	○		その他 (その他の場合) (2022)年	935kw h/年削減	
経済		地域イベントへの参加及び協賛	指標 (KPI)	参加及び協賛回数	指標
社会	○		目標値		社会 (2) ②
環境			その他 (その他の場合) (2022)年	3回/年	

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
 （1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・ 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 日本磁力選鉱株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
99 その他（市と連携した取組み）	北九州環境ビジネス推進会で、環境・リサイクルビジネスに関する技術・市場情報の収集・産学交流等を行っている。（SDGsゴール・ターゲット 7, 9, 12, 13）

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。